

# こんぺき

静岡市稲門会  
会報 第4号  
2016.12.10 発行

## 新会長大村栄一氏を選任 平成28年度総会

平成28年度静岡市稲門会総会が5月13日、グランディエール・ブケトーカイで開催されました。

総会では西雅寛会長急逝のため新会長の改選が行われ、それまで会長代行を務めていただいていた大村栄一氏（昭和36年商学部卒）が、満場一致で選任されました。

大村栄一氏は家具の卸・製造・販売のヤマカ産業株式会社（駿河



就任の挨拶をする大村新会長

区新川）代表取締役社長で、これまで本稲門会副会長など役員を歴任されています。

大村新会長は選任の挨拶で「西前会長が目指したあらゆる世代、分野、職種の校友が交流するネットワークの構築を目指し、微力ながら全力を尽くしたい」と決意を表明しました。

その他の議題は原案通り承認されましたが、年度収支のマイナスが続いている状況を改善するため担当役員から、県稲門祭のチケットなどの販売に一層の協力をいただきたいとの要請がありました。

### 記念講演は長谷川さん

総会終了後は、元SBSアナウンサーで現在(株)舎鐘（しゃやべる）代表取締役の



長谷川玲子さん（平成24年院卒）による「心に伝わる話し方」のお話があり、会場が和やかになったところで懇親会となりました。なお総会には清水稲門会から齋崎文敏副会長、志太榛原稲門会から伊東健一事務局長が出席して下さいました。

### 華やかに新年会

静岡市稲門会平成28年新年会が2月13日、グランディエール・ブケトーカイで開催されました。

石渡裕子さん（昭和52年教育卒）とお仲間の皆さんによる邦楽



演奏で華やかかつ雅やかに幕を開けた同会は、田辺信宏静岡市長（昭和60年政経卒）はじめ出席会員の皆さんの新年にかける抱負表明や

新入会員の自己紹介などが盛り込まれ、新年を寿ぐ有意義な会となりました。

### 慶応を圧倒（？）

#### 早慶ビア・パーティー

今年度の夏恒例の早慶ビア・パーティーは当稲門会が幹事役。参加者人数でも三田会を圧倒しようと会員に呼びかけたところ、慶大側約40名に対し早大側約60名とライバルを圧倒しました。

尤も会が始まれば、応援合戦以外での早慶の壁はなくなり、終始会場は和やかな笑いに包まれていました。なお清水稲門会の豊島勝一郎会長もご出席いただきました。



初参加の会員による自己紹介タイム

## お仕事中、おじやまします 校友の職場訪問

政治、経済、教育、マスコミ等々様々な分野で活躍する本会会員。その職場を訪問させていただきました。お忙しいところ有難うございました。

### 常葉学園

常務理事・学園事務局長

木宮岳志さん（昭51年法卒）

葵区瀬名の学校法人常葉学園本部におじやましました。大学から幼稚園までの14校に加え、病院や美術館等からなる常葉学園グループ全体をまとめるのが学園本部です。木宮岳志さんは、その常務理事と事務局長を兼務しています。

主要な担務は人事関連とのことですが、一口に人事と言っても専任、非常勤を含め教職員の数が約千七百名と聞けば、その責任の重さと忙しさが覗えます。

平成30年の常葉大学草薙キャンパス開校に備えての準備も始まっています。私学に限らず大学全般が少子化による厳しい環境にある中、積極的な展開を図るのは、偏りに時代や地方の要請に応えた人材育成を果たすためとのこと。

また社会が複雑化し、学園の組織が拡大する中、教職員やカリキュラムの多様化も進んでいるため、

建学の精神という基本的な価値観を全員で共有することがますます重要になっていきます。人事担当常務の力の発揮どころのようです。

さて、仕事に追われる毎日で、このまま無趣味人間のままでと奥様から見捨てられてしまうのではないかと心配とのこと。庭いじりなどでストレスを解消するだけでなく、昔取った杵柄（なんと学生時代は、早大交響楽団でコントラバス奏者！）で、今後はピアノなどにも再挑戦してみたいとの抱負も語ってくれました。



本部前、木宮和彦前学園長銅像と

## 日本銀行静岡支店 支店長

小高新吾さん（昭61年政経卒）

葵区金座町の日本銀行静岡支店に伺うと、背が高く色白の美丈夫が温かい笑顔で迎えてくれました。小高さんは北海道生まれで、大学卒業と同時に日銀に入行、香港事務所長や釧路支店長、金融研究所参事役などを歴任の後、平成27年静岡支店長として赴任しています。

早速、静岡の感想を尋ねると、本県は幅広い産業を擁し、多くの優良企業が活動していて、日銀マンとしてやり甲斐のある地であり、また温暖な気候と温かい人情で大変暮らしやすいとの評をいただきました。

同支店は、銀行券の供給や金融機関との預金・貸出取引などの基本業務に加え、地元の金融・経済の調査や幅広い情報発信など、産業インフラとしての機能を担っています。

全国的に見ても回復の遅れた感の強い静岡県経済について同支店では、労働生産性の低さが賃金の低迷を招き、それが労働者の減少、消費の低迷につながっているとの見解を示しています。リーマンショック以降、多くの製造業が海外シフトしたことも一因ですが、残された部分（非製造業含め）が生産性を高め

る努力をする必要があるとのこと

です。小高さんからは、本県には水準の高い基礎技術があり、研究拠点としての整備や新しい産業への挑戦、未活用の地域資源の掘り起こしなどを官民一体となって取り組んでいけばチャンスは大いにあるとの力強い言葉をいただきました。

静岡のレベルにはとても及ばないと謙遜されていましたが、中学、高校時代はサッカー部に所属していたとのこと。

現在の趣味は音楽や山歩き、里歩きです。とりわけ音楽は大学時代の合唱団で奥様と巡り合い、思い入れは深いようでありました。ここにも稲門夫婦がいらっしゃいました。



※平成29年2月10日の静岡市稲門会新年会では、小高支店長にご講演をお願いしております。

## 静岡朝日テレビ

代表取締役社長

深沢春樹さん(昭47年教育卒)

視聴率も業績も好調の静岡朝日テレビにおじゃましました。社屋は葵区東町の国道沿いにあります。

北澤社長は北海道生まれ。昭和47年テレビ朝日に入社、長い報道部の後、スポーツ局長、人事局長、常務、専務(報道、スポーツ担務)を歴任し、平成26年現職に就任しました。

静岡は、いつも父親が住みたい住みたいと口癖のように言っていた地とのことです。その割にご本人はずっと通過県でしかなかったようですが、今では実際に暮らして、気候や食物、人情など静岡の良さを満喫しています。とりわけ毎日見る富士山の姿、おいしい日本酒、豊かな歴史にはぞっこんの様子でした。

キー局から地方局へ移って強く感じることは、静岡では視聴者が身近に存在していることだそうです。もともと地域密着と視聴者の信頼を大切にしてきた局であり、今後もこの基本姿勢を一層強く追及していきたいとのこと。

また各種イベント等を通じ、全国から人を集めることも地域貢献の一つとして取り組んでいます。「静岡マラソン」は参加者のほぼ半数が

県外からです。



民報4局で取り組む「静岡県を元気に!」のおかw k t kプロジェクト」もその一環です。これまで単なるライバル同士でしかなかった4局が、それぞれの特徴を生かしながら一緒に頑張って地域に貢献していくというものです。

スマホなど新しいメディアの拡大する中で、既存のローカルテレビ局が大事にしなければいけないのはコンテンツであり、地元ニュースや災害報道など、ローカルにきちんと向き合っていくことが重要とのことでした。

趣味は歴史探訪。尤もこれは静岡に来てから面白くなったものだと思います。また日本酒もストレス解消の重要なコンテンツとお見受けいたしました。

## OB・OG通信

福井稲門会より引抜成功!

相川洋介さん(平16年社科卒)

静岡市出身で、現在追手町法律事務所で弁護士として勤務しています。依頼主のため力の限りを尽くすことがモットーです。

この度、福井稲門会から同会看板娘を静岡市稲門会へ引き抜くことに成功しました。私の婚約者の嶋田麗子さん(平12年法卒)です。



彼女とは司法試験合格後の司法研修所で知り合い、早大出身ということで意気投合したものです。彼女は福井稲門会において、オー

ル早慶野球開催の折は、ローカルテレビで宣伝活動をするなど活躍していたようで、私なんかよりもよほど当稲門会の役に立ちそうです。

来春から同じ事務所で働きます。夫婦共々よろしく願います。(よくやった、洋介! 事務局)

トライアスロン復帰計画中

神谷瑞穂さん(平12年人科卒)

ミキプールの三基商事(株)静岡支店で楽しく仕事しています。

出身は駿東郡長泉町で、大学時代からずっと静岡県を離れて

いましたが、2013年当地に転勤となり、久しぶりの静岡生活を満喫しています。



学生時代はトライアスロンサークル「ノースウエスト」に所属していました。最近はなかなか大会に出られませんが、復活したいと計画中です。ゴルフにも真剣に取り組んだ時期がありますが、今は2か月に一度くらいのラウンドです。よければ80台、だいたい90台、たたくと100にもなりますが、いつも白(レギュラーティー)で回っています。

## 目指せ！ビジネスウーマン

土屋芽衣さん(平27年人科卒)

神奈川県川崎市の出身です。平成27年に大学を卒業し野村証券に入社、新人研修の後すぐに同社静岡支店に配属となりました。



初めての静岡ですが、気候は温暖、海の幸、山の幸は豊富で、とても住

みやすい所と思っています。

業務内容は証券営業です。お客様の大切な時間をいただかなければなりませんので、常に有用な情報を提供できるよう心がけています。お客様との信頼関係を築くのが一番大切だとわかっていても、なかなか難しく頭を悩ますところですが、頑張る皆様の役に立つビジネス・ウーマンを目指したいと思っています。

ストレスはヨガやジムで体を動かしたり、職場の同僚や友達と楽しく飲んだりして解消しています。

静岡市稲門会では様々な分野で活躍されている方々にお会いできて、とても楽しかったです。

## MBA取得し提案力アップ

林聡(あきら)さん(平11年商卒)

大阪、堺市の生まれで、高校までは大阪で育ちました。東京海上日動に入社後、平成24年東京から静岡支店に転勤してきました。

県内の自動車ディーラーさんを通じて自動車保険を販売すべく、各ディーラーの社長さん等に各種企画・提案をすることが主な仕事です。現在は日産とHONDA、三菱、AUDIの本社を担当しています。



当社入社以来、企業の役に立ちたいと、MBAを取得、グループ会社の経営計画に携わってまいります。

趣味は漫画を読むことです。何も考えずにのんびり穏やかに過ごしている、日頃溜まったストレスが消えていくのが感じられます。

## 早慶麻雀大会

### 早慶の雀鬼勢揃い

9月26日、静岡市葵区南町の麻雀荘「駅南」で開催。早慶の強者24名が熱い戦いを繰り上げました。

結果は、稲門会の優勝。個人では稲門会・藤岡平氏が栄冠をものにしました。ちなみに準優勝は沼津稲門会の三輪俊城会長でした。



## 早慶ゴルフ大会

10月23日、菊川CCで開催。ハッピー3から36までの20名が参加、グリーン上でがっぷり四つの熱戦

を展開。優勝は三田会。個人優勝は三田会の成岡揚蔵氏でグロス85、ネット71。稲門会トップは土屋康一氏で、グロス94、ネット76でした。



## 来年も気合を入れて！

### 静岡市稲門会新年会

2月10日(金)午後6時半から静岡駅前のグランディエールで開催します。記念講演は小高新吾日本銀行静岡支店長による「2017年本県経済の課題と展望」です。

ご同伴大歓迎です。お申込みは別紙案内状に従い、FAX、Eメール、電話等でお申込み下さい。